

上野凌雲院へ啓定之し其令佛して流も河へ佛
ありと凡丈ヶき人寺河河へ觀音に徳利杯の物
持る形像之兩

即虎下備 上野一位殿おも洋河へ寺式方へ
ト来りしと記しぬ

光琳之事

長江軒寂明青く光琳正徳六年丙申六月廿九歿
寺番神寺の裏小墓あり身は浪子代か
り

建仁寺垣之事

世に建仁は垣と留別行とて横竹道又ハ口道
願徳と造じ之の建仁寺垣の別行あり横縁ニ
ありと之キ行とて造じ之を寺垣といふ
寺横縁と昔竹垣あり

浪岡寺垣之事

浪東浪岡寺は是利義政の母居あり世に東山殿と稱す
此真も長せしれ一人の知済あり昔乃樓岡